

建設
コンサル
タンの
その
先へ。



建設コンサルタントのその先へ。

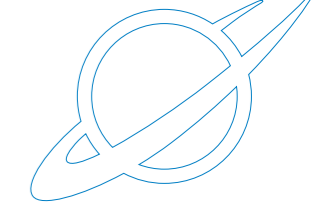
オリエンタルコンサルタンツは、“社会価値創造企業”を
ビジョンに掲げる建設コンサルタントです。

60年以上にわたり、道路や橋を始めとする数々のインフラに携わってきた経験と、
その中で得られた知見をフルに活かしながら
建設コンサルタントという“枠”にとられない事業展開を続けています。



中野 慎梧

2020年入社
関東支社 交通政策部
高知工科大学大学院了



若さを理由に挑戦の幅を狭めない働き方。

お客様との関係を一度で終わらせない

カーナビ搭載のBluetoothを活用して、交差点の交通量や使用ルートを調査するなど、大学時代から交通系をおもに学んできました。渋滞や事故が大きな社会問題となるなかで、自らが解決策を提案し、課題を解決したいと思ったこと。それが建設コンサルタントを目指した一番の理由です。「また、あなたと一緒に仕事がしたい」と言われる人材になる。大学の恩師から紹介されたOCのインターンで、社員の方が語った理想に感銘を受け、入社を決めました。

対面でもテレワークでも着実に成長

コロナ禍と入社時期が重なり、入社1年目は、大半の業務をテレワークでおこなっていました。新入社員一人ひとりに配置されるコーチャーから対面で指導を受ける機会は少ないものの、WebでのMTGを頻繁に設けてくれましたし、疑問点にも電話で素早く回答してもらえたので、抵抗感なく仕事を進めることができました。

若手の意見も尊重される風土

1年目に担当した渋滞対策業務で、渋滞が発生しやすい上り坂付近にてスピーカーを使い、速度調整をお願いする音声を流すという私が提案した対策、そして実験が選ばれました。経験が浅い自分にとって一番のハードルは、思いついた対策の実現性をどうやってジャッジするか。音声の秒数や使用するスピーカーの種類など、上司の力も借りながら、実験を重ねていきました。そのおかげもあり、発注者から表彰を受けることができました。上司はいつも、若い自分の意見を尊重し、支援してくれます。業務ごとに学びがあり、成長できる環境だと思います。

発展途上の「自動運転」に挑む

高速道路で一般車両と自動運転車両が混在したときに、交通へ与える影響や課題、その改善策を検討しています。自社開発のソフトでシミュレーションを進めるなかで、たとえばこの車線を走らせるか、速度はどうするかなど、ケースごとに組み合わせのパターンが無数にできます。危険性の判断、アウトプットの整理には苦戦しました。一方で「自動運転車両」という発展途上の技術に対し、海外事例をたよりに、時に自動車メーカーにも話を聞き、学びを得ながら挑戦できることにやりがいを感じています。

今度は、自分が教える立場へ

入社から今まで、首都高の安全対策に携わっています。1年目はコーチャーと共に交通現象を学び、次年度からはスケジュール管理や窓口業務をメインで担当。そして今、自身がコーチャーとして後輩を指導しながら、事故件数を減らすための対策検討を進めています。資料作成の指示や出し戻しなど、慣れない部分も多く、難しさはありますが、上司に助けてもらいつつ勉強中です。

専門家かつオールラウンダーに

首都高を走ると、自分が考えた看板が目に入ったり、渋滞や事故が減っている様子が見えてきたり、自分が社会問題に貢献したことがわかってうれしくなります。交通と一口に言っても、交通安全渋滞対策から計画まで、多岐にわたる業務が存在します。そのうちどれか一つの分野に対して専門家を目指しつつ、成長のため、別業務にも挑戦できるのもOCの魅力ですね。

入社3年目

コーチャーとして後輩を指導する立場に。マネジメント含め、次なるステップに進むための勉強を続けている。

入社2年目

この頃からシミュレーション業務へ本格的に携わり始め、自動運転車両といった最先端技術に触れる機会が増える。

入社1年目(後半)

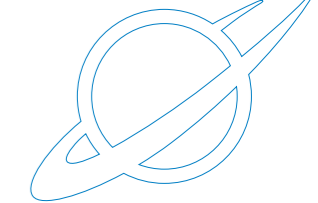
首都高神奈川局の業務にて、渋滞対策と効果検証のための実験を提案し採用される。のちに発注者表彰を受ける。

入社1年目(前半)

入社後、すぐテレワークに。コーチャーとWeb会議でやり取りしながら、発注者ともオンラインで打ち合わせを進める。

後藤 りえ

2013年入社
海外事業部
芝浦工業大学卒



国内でも海外でも、自分らしく働く。

ポジションにとらわれない働き方

昔から街の風景を眺めながら散歩するのが好きで、大学では都市計画系の勉強をしていました。就職後、早いうちから経験や実績を積める、アグレッシブに働ける仕事として建設コンサルタントを選択。チームやプロジェクトの中でやりがいのある役割を担い、若手のうちから責任ある仕事に取り組めるOCは、スキルアップしたい私にとって理想的な環境でした。

ハードもソフトも両方語れるコンサル

国際都市の玄関口へふさわしいまちづくりを進める「エキサイト横浜」の業務に約9年間携っていました。河川や道路、地下構造など複数の部署にまたがる大規模な業務だったため、ハード系の知識も必要になります。当時、入社2年目だった私は用語もわからなければ、図面を描くこともできず、勉強の連続でした。素人レベルの質問をする私に対して、各部署のエンジニアが優しく指導してくださったおかげで、ソフト・ハードの垣根を超えてプロジェクトを推進できることが私の強みになりました。

自分の線が、新宿の街並みをつくる

新宿駅東口、アルタ前の歩行者空間の拡張業務では、道路交通の調査・企画提案をメインで担当していました。都心の再編は細かい条件が多く、安全でスムーズな移動をどう実現するか悩みました。私が鉛筆で引いた道路の線が、何万人が行き交う街並みになる。自分の仕事が形になった時、大きなやりがいを感じます。

次なるフィールドは「海外」

海外事業部へ異動し、日本の建設企業の海外進出を支援するコンサルタント業務等を行っています。これまでは国内業務を主としてきたため、現在、海外のニーズや競合を学んでいる最中です。他にもタイのスマートシティ関連業務や、カンボジアの大規模開発案件も同時に携っており、多数の海外都市にて仕事しています。海外事業部は国を跨ぐ仕事が多いため、文化はもちろん、多様性を尊重しあえる職場だなと感じます。

業務の傍ら、リモートで大学院へ

技術者として特出した価値を身につけるため、コロナ禍を機にオンライン講義が増設された筑波大学大学院へ入学し、リモートで講義を受講しています。OCはキャリアを重ねてからも勉強を続ける人が多く私の上司も多忙な中で大学やセミナー等へ通っています。エンジニアとして尊敬できる上司が多いのが一つの特長ですね。自分自身も、都市・交通を軸としたエキスパートを目指し、博士課程にも挑戦したいと思っています。

国内外を問わない活躍

海外業務を通し、国内の枠組みを超えた考え方や、仕事の進め方を知ることができました。エンジニアとして国内外問わず活躍できるよう、国際社会に目を向けた実績づくりや自己研鑽に取り組み、価値の高い技術やサービスを提供できる実力を身につけていきたいと思っています。

入社1年目

社会政策部(現:都市政策・デザイン部)に配属される。歳の近い先輩が多く、チームワークある職場で仕事に励む。

入社2年目

主担当としてエキサイトよこはまの業務に携わる。複合的かつ大規模な開発業務に関わり、技術力の幅が大いに広がった。

入社9年目

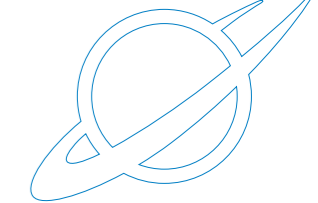
筑波大学大学院へ入学。業務後や休日にオンデマンド形式の講義を受講。業務とは異なる、学術的な知識を得る。

入社10年目

海外事業部へ異動、フィールドを海外に移し、中小企業支援やスマートシティ案件等に携わる。

田中 達也

2016年入社(キャリア採用)
関西支社 地下構造部
大阪工業大学卒



キャリアを活かし、新たな分野を切り拓く。

電気通信系をイチから立ち上げ

社会人として1年目、電気通信系の業務を主とした建設コンサルタントに入社。その後、工場の保守メンテナンスに職種を移すも、故障個所の修理といったルーチンワークが多く、求めるやりがいとの差を感じ、3度目の転職を決めました。時を同じくして、OCに転職した先輩が、「今なら一緒に、チームをイチから作っていけるぞ」と、自分を関西の立ち上げメンバーに誘ってくれたんです。私たちのペースで、私たちなりの挑戦ができる。裁量権の大きさに魅力を感じ、OCに入社しました。

今より、組織をもっと大きく

最初は私と上司、二人三脚でのスタートでした。今は6人まで増え、定期的にチーム全体でMTGをしながら、各自が持つ情報や技術を共有しています。電気通信設備は10年から20年に1回、必ずリプレイスされるため、継続的に案件が発生します。対象施設により大規模なものもあるため、今後は社内のリソースをもっと増やしていきたいですね。

発注者を支える専門家

電気通信関係の設備設計は、道路や河川に関連する施設すべてに関わってくるため、その業務内容も多岐にわたります。ダム、道路・トンネル等といった施設の用途にあわせ、どんな仕様の設備をどう配置するかで設計内容も変わります。設計基準をもとに、いかに柔軟に対応できるか。私も経験を、スキルへ変換している最中です。また自治体等では、設計分野の知識を持った発注者が少ないため、専門家として良い提案をすることを意識しつつ、常に最終成果のイメージを持ちながら業務を遂行し、ズレが出ないように、一体となって進める努力をしています。

次世代をつくる研究開発

建設コンサルタントをこえた取り組みとして、私のチームでも研究開発をおこなっています。現在は、「トンネル照明設計自動化ツール作成」のため、関東・関西が手をとり、プロジェクトに取り組んでいます。効率化を目的に、全体の計算や図面作成の自動化を検討。トンネル内で必要な明るさ等、設計条件を入れると、照明台数、仕様器具配置が自動で算出され、二次元の配置図として図化されるツールを制作しました。現状はツールの実証と改良を進めており、今後は3次元図化等への取り組みにも挑戦したいと考えています。

3度目の正直、技術士試験

技術士取得に挑戦も、2度の不合格を経験。忙しさを理由にはいけないと一念発起し、勉強時間を確保できるスケジュールをつくりました。OCの制度を使い、外部講師の力も借りながら、「3度目の正直」でついに合格。管理技術者として経験を深めるのはもちろん、通信や無線系の設備など、経験のない分野にも挑戦していきたいです。

“個”の成長を後押しする体制

OCは経営理念にある通り、社員満足を追求し、各人の“個”の成長をサポートしてくれます。大きなプロジェクトに携わる機会が多く、個人の裁量が大きいからこそ得られる刺激。責任感とやりがいをもって仕事ができる環境が整っています。

入社7年目

「トンネル照明設計自動化ツール制作」に携わる。現在は実用化に向けて、実証実験に取り組んでいる最中。

入社4年目

技術士試験に挑戦するも、2年連続の不合格を経験。会社のサポートと計画的な勉強で、ついに資格を取得する。

入社1年目

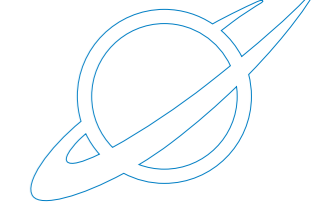
前職の先輩と2人で、関西支社の電気通信関係の設計業務を開拓。徐々に取り組みの先例を蓄積していく。

入社前

電気通信関係の建設コンサルタントと工場の保守メンテナンス業務を経験した後、先輩の紹介でOCへと転職する。

佐藤 睦美

2009年入社
九州支社 河川砂防・港湾部
九州大学大学院了



業界の地図を「ひっくり返す」女性技術者。

土木知識ゼロからのスタート

大学時代は古い町並みの保全を研究していました。最初は観光・ツーリズム系への就職を考えていたのですが、途中で「人の相談にのるの、好きかも」ということに気がつき、そこから建設コンサルタントも視野に入れ始めました。土木に関する知識を学び始めたのは、配属決定後です。当時は「絵とき水理学」という初歩的な本で一から学び、私が納得するまで指導してくれる先輩・上司に頼りきりでした。

10年先も真新しい楽しみがある

入社3年目に、初めて国交省業務の担当を任せられました。その時は、ただただ、目の前の作業と向き合うのに必死でした。それから10年ほどたった今、今度は管理技術者の立場で、隣地区の樋門設計業務に取り組んでいます。どう治水効果を高め災害の被害を減らすか、運用的な面で地元の方の負担をどうやって軽減するか、お客様の求めていることを、なるべく少ない負担で実現したい。当時よりも何倍も広い視野で業務に向き合っています。蓄積してきた知識を活かして働いているという実感と、当時の私に負けず劣らず真剣に業務へ向き合う部下の姿や成長が、仕事の新たな「楽しみ」につながっています。

災害時に「祈る」だけで終わらない

災害が起きたとき、被害がないよう祈るだけではなく、自分の知識や専門分野での経験を活かして、地域へ直接貢献できることにやりがいを感じています。OCの河川事業は、徐々に規模が大きくなっており、それと同時に、事業の幅も広がっています。災害対策により、貢献できる地域・領域を拡大できるよう、今後も事業部全体として成長を続けていきたいですね。

入社1年目

内定後にインターンを経験し、建設コンサルタントの基礎を学ぶ。河川分野に配属が決まり、土木知識の習得を始める。

入社3年目

国交省業務を初担当、初表彰を受ける。現在は隣地区における樋門詳細設計に管理技術者として携わっている。

入社7年目

技術士(建設部門)に合格。その翌年、続けざまに技術士(総合技術監理部門)の試験に挑戦し、見事合格を果たす。

入社13年目

国交省業務を、同時期に複数特定。チームの協力もあり無事に業務を完了させ、最終的に3件の表彰を受けた。

強みを活かす「河川×文化財」業務

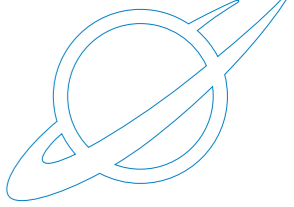
近年、深い歴史をもつ大河川を扱う業務が増えています。直近で携わった業務では、周囲の自然環境や人々の安全、歴史的な景観、文化財すべてに配慮した堤防デザイン検討を、他支社・他部署の社員にも力を借りて実施しました。大学で研究していた文化遺産マネジメントの知識と、入社時から続けてきた河川に対する自己研鑽の成果、双方がマッチした、自身の強みを120%発揮できる業務でした。流れ流れて河川の仕事に従事してきましたが、おもしろいところで自身の歴史と結びつきました。

業務から業務へ、連鎖する学び

2014年には、特殊堤防の耐震対策設計を担当。高度な知識を要する、既設堤防を扱う業務だったため、この時も他支社や上司のサポートを受けながら、「レベル2地震動」の対策を検討、提案しました。現在の受注規模拡大にもつながった本業務は、高く評価され、最終的に国交省からの表彰を受けています。2019年に実施した水資源機構の業務でも、堤防と堰とで構造物は違うものの、先に述べた業務で得た人脈と知識を活かして、レベル2地震の動的解析を成功させ、表彰を受けることができました。一つひとつの業務を通し積み上げてきた経験や引き出しが、私の力となり、組織の成長にもつながっている実感があります。

幹部職として目指す未来

会社として女性の活躍を推進しており、私自身も多くの案件に挑戦させてもらいました。OCの河川分野は、まだ成長の余地を多く残しています。チームメンバーの得意・不得意を見極め、各自が仕事を楽しみながら挑戦できる環境を整備し、業界トップの集団へと成長していければと思います。



2030年ビジョンを定め、全社で共有。

私たちは1957年(昭和32年)に創業して以来、高い技術力とチャレンジ精神で邁進し続けてきました。目指しているのは、受動的に業務を行うだけでなく自らも社会を創造する「社会価値創造企業」です。会社を成長させるエンジンとなるのは、社員一人ひとりの情熱とやりがい。それを生み出すために、全社を挙げてやりがいの醸成や就業環境の改善にも取り組んでいます。

VISION

日本トップブランドの技術により、社会価値創造企業になる

これは、2030年ビジョン全体のスローガンです。

オリエンタルコンサルタンツでは、このスローガンを「2030年におけるあるべき姿」と設定し、さまざまなことに取り組んでいます。

また、経営理念で掲げた柱である「社員満足・顧客満足・社会貢献」に合わせて、さらに3つの“あるべき姿”を定めました。

日本一のやりがいを感じる会社 社員満足

特性に応じた活躍、活力ある組織づくり、価値ある時間の創出、業界トップクラスの報酬に着目し、社員一人ひとりが情熱とやりがい、誇りをもって働くことができる会社を目指します。

日本一の信頼を得る会社 顧客満足

プロフェッショナルとしての成長に資する人材育成、活力ある組織づくり、品質確保・向上に資する仕組み・体制の整備等を行い、最高品質の技術サービスを提供できる会社を目指します。

日本一の社会価値を創造する会社 社会貢献

研究開発投資・人材開発投資を拡大し、社会課題解決に向けた新たな社会価値を創造し、日本トップブランドの技術を確立し、スピーディかつ総合的に事業展開できる会社を目指します。

STRATEGY

2030年ビジョンの実現に向けた3つの戦略

革新 (イノベーション)

事業の上流(企画・計画・設計)から下流(施工監理・維持管理・運営管理等)までを一気通貫で実施する総合事業の展開や、先進技術導入に向けた研究開発の推進により、新たな社会価値を創造する。



変革 (チェンジ)

受動型ビジネスから主導型ビジネスへ転換を促進するとともに、DXの推進により事業モデルと業務プロセスを変革する。

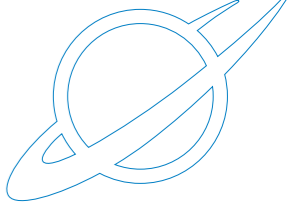


挑戦 (チャレンジ)

自らが投資し、事業者としてビジネスを行う“事業経営”を推進するとともに、官と民が持てるリソースを最大限に有効活用する“官民連携”に積極的に取り組む。



守りのビジョンじゃ、枠組みは超えられない。



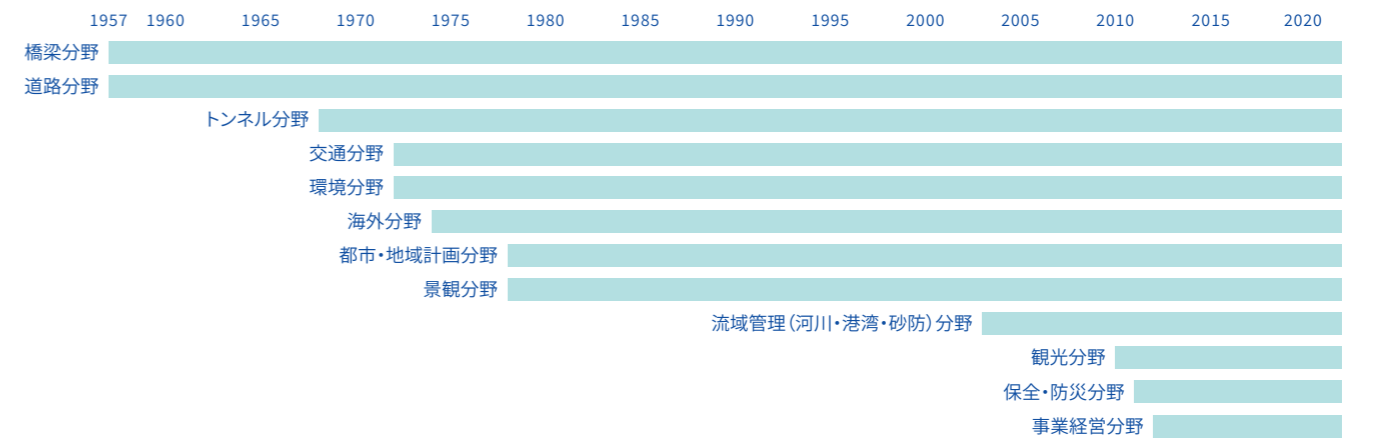
拡大を続けてきた事業領域。

1957年から現在まで、よりよい社会を目指し挑戦を続けながら事業領域を拡大しています。

現状維持でとどまれば、衰退していくだけだ。

事業の多様化

私たちのルーツは橋梁と道路分野。それからトンネル・交通・環境分野などが発展。更に、流域管理(河川・港湾・砂防)分野を拡大し、近年では、観光・防災・事業経営分野を拡大するなど、社会価値の創造に積極的に取り組んできました。そして多様化するニーズに応えられるよう、これからも拡大し続けます。



事業と分野

現在の事業領域は、7つの注力する事業と21にわたる分野で構成されています。また、政策立案から企画、調査、設計、施工、維持管理まで手がける垂直統合や、複数の事業を組み合わせる複合化して提供する複合化にも積極的にチャレンジしています。

道路整備・保全事業	流域管理・保全事業	防災事業	交通運輸事業
道路 構造/保全 地下構造 施設設備 アセットマネジメント	河川・海岸 港湾・漁港 砂防 下水道	道路防災 水防災 都市・地域防災	交通技術 交通政策
地方創生事業	地域経営推進事業	海外事業	
都市政策・都市開発・建築 景観・ランドスケープ/歴史・文化 観光 環境 カーボンマネジメント・エネルギー	総合事業・事業経営	海外	

子会社とグループ会社

現在、13社の子会社・グループ会社とともに事業を行っています。そのうち4社は、社員がアイデアを発表し承認を得て起業する「社内ベンチャー制度」を活用して設立された会社。これまでにない事業を自ら考案し、展開しています。

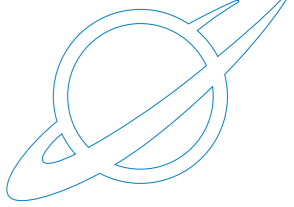
[子会社]

- 株式会社中央設計技術研究所
- 株式会社ジェーエステック
- 株式会社オリエンタル群馬
- 株式会社南アルプスゲートウェイ
- 株式会社フーディア

- 一般社団法人未知倶楽部
- 株式会社瀬戸酒造店
- 株式会社オリエンタルアグリ

[グループ会社]

- 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
- 株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
- 株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング
- 株式会社エイテック
- 株式会社リサーチアンドソリューション



自分らしく働くための制度が充実。

社員一人ひとりが自分らしく経験を積むために、さまざまな人材育成制度や働き方支援制度を用意しています。あらゆる制度を活用し、優秀な人材へと成長した社員が、変革と挑戦に取り組むこと。それこそが、オリエンタルコンサルタンツが真に魅力ある企業へ発展するのに必要不可欠なことだと考えています。

人材育成制度の概要

社員の早期成長・早期活躍を支援するために、一人ひとりのキャリアパスに応じた研修や制度を用意しています。



<p>内定者～新入社員研修 内定式から入社までの期間及び、入社後1か月間を通して業界・会社へのコミットメントを高めます。</p>	<p>コーチャー制度 入社後1年間、日常の悩みや不安、成長サポートとして先輩社員が伴走します。</p>	<p>技術士取得支援 受験1回目合格を目標に掲げ、外部講師と社内指導者が徹底サポートします。</p>	<p>大学院進学支援 専門性の高度化、リスキリングなどを金銭面等でサポートします。</p>
---	--	---	--

働く環境

仕事に対する考え方は人それぞれ。そこでオリエンタルコンサルタンツは、働く社員を支援するさまざまな制度を用意しています。社員一人ひとりの価値観やワークライフスタイル、結婚や介護といったライフステージの変化などに合わせて、さまざまな働き方を選択することが可能です。

ワークライフバランス／ダイバーシティ 多様な人材が働きやすく・活躍できる職場環境づくりのために、一人ひとりのワークスタイルやライフイベントに合わせた支援制度の充実を図っています。	<p>多様な働き方勤務制度 自身のワークスタイルに応じて勤務地・勤務時間・職種を限定できる各種制度です。</p>	<p>ライフサポートフレックス 育児・介護・自身の治療などの際に時間を柔軟に変更できるOC独自の制度です。</p>	<p>定年延長・再雇用制度 定年を70歳まで延長できる制度、再雇用契約できる制度です。</p>
	<p>ハイブリッド型勤務 テレワーク(標準週2回)、自宅、サテライトオフィスなどを組み合わせて働く場所を選択できるハイブリッド型勤務を実施しています。</p>	<p>時間年休制度 時間単位での有給休暇を取得できる制度です。</p>	<p>エンゲージメント 毎年1回、全役職員を対象に社員満足度調査を行い、経営施策の妥当性を検証しています。</p>
福利厚生他 仕事とプライベートの豊かさを実感するために、仕事の効率化を図り価値ある時間の創出に取り組んでいます。	<p>家族手当 本人が世帯主である場合のベース額に加えて、扶養義務のある者に対して支給する制度です。(例: 東京地域在住、独身世帯主の場合33,000円)</p>	<p>テレワーク勤務補助 1日以上行った場合について、一律月額1,800円(光熱費・通信費)を補助する制度です。</p>	

※この他にも制度がございます。詳細は採用サイトをご覧ください。

人材育成に本気じゃない会社が、社会を変えられるか。

さあ、あなたも社会から求められる人に。

オリエンタルコンサルタンツが担うのは、人々の暮らしを守り、
よりよい社会を実現するためのお手伝いです。
建設コンサルタントという枠を超えて、自らが積極的に働きかけ、
社会にとって価値あるものを生み出すことを目標としています。
さあ、あなたも一緒に“社会価値創造企業”を目指してみませんか。



www.oriconsul.com/recruit/

本 社

〒151-0071 東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館
TEL:03-6311-7551(代表) FAX:03-6311-8011

北 海 道 支 社

〒001-0019 北海道札幌市北区北19条西3-2-16
TEL:011-776-6120(代表) FAX:011-776-6121

東 北 支 社

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービルディング
TEL:022-215-5522(代表) FAX:022-215-5622

関 東 支 社

〒151-0071 東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館
TEL:03-6311-7851(代表) FAX:03-6311-8021

北 陸 支 社

〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通2-3-26 プレイス新潟
TEL:025-244-7881(代表) FAX:025-244-7387

中 部 支 社

〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19 住友生命名古屋ビル
TEL:052-564-7711(代表) FAX:052-564-7721

関 西 支 社

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル
TEL:06-6479-2551(代表) FAX:06-6479-2320

中 国 支 社

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀5-7 広島KSビル
TEL:082-223-0030(代表) FAX:082-223-0005

四 国 支 社

〒760-0023 香川県高松市寿町1-3-2 日進高松ビル
TEL:087-821-4012(代表) FAX:087-826-5251

九 州 支 社

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-8 住友生命博多ビル
TEL:092-411-6209(代表) FAX:092-411-3086

沖 縄 支 社

〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地2-22-10 那覇第一生命ビルディング
TEL:098-860-8403 FAX:098-860-8406



株式会社 **オリエンタルコンサルタンツ**



お問い合わせ(採用担当)

TEL:03-6311-7551(代表) FAX:03-6311-8011
E-Mail:saiyo@oriconsul.com